

防災力強化事業 実行計画イメージ

→ 進捗遅れ 予定通り 後ろ倒し 遅れ

実施項目	具体的作業	対象	目的・内容
I 第一フェーズ(4~9月)	基礎情報の把握 → 調査研究		
a 全体共通	1 地域防災計画の把握	公開文書の検索、確認 疑問点、問題点、課題の抽出 * 国、県、横浜市、川崎市……	防災計画の現状を正しく把握する
X 仮説構築	2 仮説構築	訪問、説明用の仮設構築と説明資料の作成	現状、課題、解決策
	3 横浜市及び関連団体への聞き取り	防災計画の疑問点を確認する 法人としての課題認識のプレゼン 重点行政単位、部局、関連団体、キーパーソンの抽出と面談 * 県、横浜市、県社協、市社協……	防災計画の疑問点を確認する
	4 連携NPOの抽出	事業実施には連携できる団体が必要 横浜市関連団体のピックアップ 活動内容確認と連携可能性の検討	連携できる団体の抽出と面談
	5 防災時協働体制の構築	県、市、社協、NPO、全国組織の連携枠組み 連携の枠組み構築 行政への提案、具体化 リエゾン育成	連携の枠組み構築 下期に延期 → 事務局を想定出来るか？
b 被災者支援	1 地域別防災計画の具体的把握	現在想定されている防災時活動の把握 課題、問題点の明確化 沿岸各区へのヒアリング(TEL、訪問) → 自治会紹介 重点エリア自治体訪問 具体的内容確認 避難所運営について、マンションの扱い 自宅避難者対応について * 鶴見、神奈川、磯子……、都築	現在想定されている防災時活動の把握
	1' 防災時の具体的な問題と解決方法の提案	研修資料として 防災初期、1か月目等の必要項目抽出 具体的な避難所運営マニュアル、O&A、HP等へ	研修資料として 熊本、岩泉の体験
	2 地域住民意識調査	防災計画理解、防災時行動の把握 NETを活用した調査(HP、ML、FB経由gフォーム) 周辺住民へのアンケート実施	防災計画理解、防災時行動の把握
	3 マンション管理組合意識調査	避難所としての意識と準備状況の把握 サンプル調査での課題把握 (管理組合、管理会社) 郵送、メール、訪問等での調査実施 * 管理組合、自治会、管理会社 & 住民	避難所としての意識と準備状況の把握
	4 関連状況の把握	重点対象以外の状況が想定通りか？ 要支援者把握と福祉避難所 私設避難所、避難所外施設、一時避難所等 ライフラインの復旧見込み 支援物資配送計画 → コンビニ活用、ドローン活用	重点対象以外の状況が想定通りか？
X 防災メンバーの育成事業(先行実施)	防災ファシリテーター養成講座 自主講座内容構築、経費試算	避難所運営、地域中核、リエゾン 助成金対象事業	避難所運営、地域中核、リエゾン
d 情報支援	1 安否確認システムの普及協力 2 一般向け災害時ポータルサイトの要件整備 3 会員向け情報サイト構築準備 4 ボラステ共通信報発信サイトの仕組み提案 5 ニーズ把握、伝達、物流連携システムの検討	啓蒙マニュアル作成 構築準備 構築準備 要件確認 要件整備	ポータルサイト準備
C 学校防災	0 初期避難 1 学校と避難所/教員の役割	基本調査、研究は終了 被災時に教員は何を行うか？ 地域住民と学校の利害調整	基本調査、研究は終了
		防災マニュアルの実情確認→課題抽出 横浜市研修実施→アンケート調査での実態把握 教員向けマニュアル、防災サイト等の構築準備	防災マニュアルの実情確認→課題抽出

